



《炭鉄港》は、近代北海道を築く基となった三都（空知・室蘭・小樽）を、石炭・鉄鋼鉄道・港湾というテーマで結ぶことにより、人と知識の新たな動きを作り出そうとする取り組みです。当NPOの主導によって、2010年から毎年、地道な活動を続けてきました。

活動の甲斐があって、このたび《炭鉄港》は日本遺産に認定されました。

今回の選定では、応募72件のうち16件が認定されました。4.5倍の競争率であり、5年連続で応募してやっと認定された福井県をはじめ、複数回チャレンジした上で認定に至るケースが多いなかで、《炭鉄港》は一発必中の快挙でした。認定に至るまでの内実は、一連の申請前後の作業を続けていても常に「薄氷を踏む」思いで進んできました。認定後に関係者から情報を収集してみると、選外から当落線上へ、そして夕張石炭博物館の坑道火災の最中に文化庁へ呼ばれて行ったヒアリングでの逆転認定へと、幾多の土俵際に立たされたながら、日本遺産の認定につなげることができました。

《炭鉄港》日本遺産への道

【起】発想の根底は1990年代半ば

最初に《炭鉄港》を着想したのは、1994年、吉岡理事長が室蘭製鉄所の門前町である輪西地区の皆さんと、商店街活性化の取り組みを通じて知り合ったことが発端でした。そのつながりは今日まで続くほど深いもので、輪西地区では普通に見られていた三交代・社宅・倶楽部・会館・野球場・飲み屋街…といった街の構成と生活が、炭鉄と極めて相似していることが、空知との結びつきを発想するキッカケとなりました。

ほぼ同時期に、吉岡理事長や石川理事が札幌で展開していた新型路面電車LRTの市民活動を通じて、小樽の小川原格さん（藪半社長で小樽運河保存の主要メンバーの一人）と知り合ったことが、もう一つの着想の契機となりました。当時、小川原さんたちも小樽運河と並走する国鉄手宮線跡にLRTを導入する市民活動を行っており、その線路こそ、全国3番目の鉄道として開通した幌内鉄道のルートだったのです。

【承】次々と策を練り出す2000年代後半

《炭鉄港》の具体的な姿が、はじめて文字に記されたのは、道庁委員会（2007年度

産業観光振興検討会議、吉岡理事長が委員長）において、委員長自らが執筆した報告書で、吉岡理事長の頭の中にボンヤリと描いていた考えが文書で示されました。この委員会には、産業観光や近代化遺産の取り組みの第一人者であり、後に日本遺産の審査員となる丁野朗さん（当時は日本観光振興協会常務理事）にも、委員として加わって頂きました。

ちょうどその頃、2009年8月に「そらち炭鉄の記憶マネジメントセンター」が開設されたことで、活動の拠点とスタッフが揃い、単なる妄想から具体的な活動へと大きく前進し始めました。

また、これと前後して、道が設置した観光系会議（道央地域観光戦略会議、吉岡理事長が会長）において、今後の観光のコンセプトとして「ハブ観光」が打ち出されました。ハブ観光とは、宿泊拠点と周辺の地域資源を組み合わせた滞在型の観光の考え方です。これを具体化する取り組みの第一弾として、《炭鉄港》を位置づけたことで、観光戦略会議の下部組織として2010年に「炭鉄港部会」が設置され、小樽・室蘭との連携が本格スタートしました。《炭鉄港》というネーミングは、3地域のメンバーが小

樽の蕎麦屋「藪半」の二階座敷に集まって相談している時に、小樽のメンバーから「もっとわかりやすい名前をつけるべき」という意見が出され、その場で捻り出されたものです。

2012年には、丁野朗さんのご助力によって日本観光振興協会の産業観光ワークショップが開催され活動に弾みがつきました。空知・小樽・室蘭の活動メンバーが互いに現地訪問し、最後は札幌ファクトリーに結集してワークショップと大懇親会を開催するという画期的な内容でした。



【転】2015年の世界遺産登録で加速

2015年に「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産に登録されたことで、《炭鉄港》の活動は転機を迎えました。

これまでの文化財行政では、近代産業に関して十分な文化財指定がなされてこなかった中で、世界遺産への登録の動きは、

たとえそれが明治期に限られたものであっても、画期的な意味を持ちました。そもそも、ユネスコ世界遺産委員会では、1994年に登録遺産の種別間における不均衡を是正するため、産業遺産を今後登録を推進すべき分野の一つとして位置づけていました。

このような世界的な潮流を受けて、2001年頃から日本でも産業遺産を世界遺産に登録しようという動きが存在し、その候補として、当初は北海道が有力視されていました。その布石として、2003年に赤平市で国際炭鉱山歴史会議が開催されましたが、世界遺産登録の動きは北海道では具体化しませんでした（…というよりは、むしろ吉岡理事長は九州へ転向すべきと示唆しました）。

その後、鹿児島県で薩摩藩主・島津家の資産を継承し観光事業などを展開している(株)島津興業が、九州・山口県の県知事や国機関に働きかけを行い、九州地方知事会の政策テーマに採択されました。二人の総理大臣を輩出するという地域特性を背景に強力な政治的運動を展開した結果、2009年に国内での世界遺産暫定リストに掲載されました。

当NPOは、2003年から(株)島津興業との関係を築いてきたため、世界遺産登録に関する情報を容易に得ていたことから、2014年の炭鉱の記憶推進会議（空知総合振興局）において、吉岡理事長が世界遺産登録の進捗状況を報告し、はじめて公式の場で《炭鉄港》との関連性に言及しました。

2015年の同推進会議では、世界遺産登録が確実視されていたことから、再び《炭鉄港》との関連性について議論となり、日本遺産の登録の可能性を含めて情報収集を開始することとなりました。こういった動きの中で、道のプロポーザル型政策形成事業で道職員による調査研究が行われ、高橋知事に報告されるとともに、(株)島津興業と空知総合振興局との間で連携協定が締結されました。



NPOが仲介した島津興業と振興局との連携協定

【結】日本遺産の申請へ

本来であれば、日本遺産制度ができた2年目の2016年度には、申請ができるまでの熟度が高まっていたのですが、行政の人事異動によって「失われた2年」という雌伏の時となりました。この時点では、日本遺産の制度が始まったばかりなので認定基準も緩やかなもので、今回の申請のような厳しい取り組みをせずに済んだのではないかと悔やまれますが、この間に空知総合振興局から当NPOが受託して「炭鉄港ストーリー」を取りまとめたことは、今回の日本遺産申請にあたっての大きな力となりました。また、2017年3月には北海道「炭鉄港」市町村議員連盟が発足し、連携と各地での支援の流れを生み出す契機となりました。



市町村議連の設立

2018年の人事異動によって、日本遺産登録に向けた動きは、一転して再び活発化しました。7月には各市町・観光協会・商工会議所・民間企業・関係機関など計53団体が加盟する「炭鉄港推進協議会」が発足。9月に東京で開催された全国最大の旅行業界展示会「ツーリズム Expo ジャパン 2018」に(株)島津興業と当NPOが共同で出展し、室蘭観光協会仲嶋事務局長や在京会員の助力を得て全国デビューしました。11月には、札幌市で空知総合振興局主催による炭鉄港セミナーが開催され、満員札止めとなる500名以上の来場者がありました。

このような目まぐるしい動きの中、当NPOが作成した「炭鉄港ストーリー」が存在していたことで、短期間のうちに内容の充実した申請書を作成することができ、今回の日本遺産の獲得に結びつきました。

一発認定された要因

《炭鉄港》に関わってきた多くの方々の立場持場でのご努力・ご支援と、約10年にわたる民間が先導した準備運動、先人の足跡である《炭鉄港》自体が持っている、筋が良く・リアルで・訴求力があるストーリー性にあると言えます。

炭鉄港のロゴマークも決定！

日本遺産の活動を展開する上で、《炭鉄港》をわかりやすくアピールするためのロゴマークが約15,000票の投票により決定しました。このロゴは、当NPO職員で赤平炭鉱遺産ガイダンス施設に駐在している大倉加奈さんがデザインしたものです。



石炭博物館が営業再開

当NPOが指定管理者となっている夕張市石炭博物館は、4月18日に発生した模擬坑道火災によって営業休止していましたが、6月8日から営業を再開しました。

今回の火災では、会員の皆さまに多大なご心配をおかけしたことをお詫び申し上げます。また、寄付や激励・お見舞いを多く頂いたことに感謝申し上げます。

現在、残された2/3の施設を使って営業していますが、まだ客足の回復には至っていません。9月2日までは《炭鉄港》の特別展も開催していますので、お問い合わせの上、ご来館をお待ちしております。

これからの行事予定

日	地域	行事内容
07/27(土) 18:30~20:30	三笠	炭鉱の灯り① 《唐松駅・奔別炭鉱》
夏休み中 お盆	三笠	奔別炭鉱敷地公開
08/03(土) 13:00~17:00	石博	展示機械の油磨き 《ロビー展示の空気圧縮機》
08/03(土) 18:30~20:30	夕張	炭鉱の灯り② 《石博周辺》
08/10(土) 18:30~20:30	赤平	炭鉱の灯り③ 《赤平立坑》
08/17(土) 午後	岩見沢	マネジメントセンター10周年① 酒井・北口のトーク
09/07(土)~ 10/14(日)	赤平	炭鉱の記憶アート 土日祝のみ《赤平坑口浴場》
09/29(土) 午後	岩見沢	マネジメントセンター10周年② 吉岡+ゲストのトーク
秋開催 予定	各地	ぷらぷらまち歩き

予定：ブログなどで開催をご確認の上ご参加ください

人事異動

2019/06/05 ▷新採用/大瀧謙（臨時職員＝夕張、2019/11/08まで）

2019/07/01 ▷新採用/佐藤淳子（臨時職員＝夕張、2019/11/08まで）